

クラブを支援する制度を設けてはどうか。

答 平成30年度から支援制度を設ける。この支援により、老人クラブの活動の活性化を期待している。

新体育館建設について

問 まちづくりという観点で新体育館を考えるなら、現体育館を耐震化し、公共施設マネジメントの中で、西地域だけでなく全市的な検討が必要ではないか。

答 公共施設マネジメントの中で検討すると、新体育館の建設が遅くなり、耐震性の乏しい現体育館では人命に関わるような被害も考えられる。一日でも早く、安心して利用できる施設の建設に取りかかる必要があると考えている。

新実祥悟（無党派）

インスタグラムなどSNSの活用を

問 公式インスタグラムを開設した手応えは。



答 シティプロモーションの一環として平成29年5月に開設し、当初の目標を大幅に超えるフォロワー数となっている。インスタグラムを開設している他市と比較すると人口規模を考慮しても、その数は多く、SNS利用者に支持されていると認識している。

問 インスタグラムなどSNSの今後の展開は。

答 29年11月に赤い電車応援企画と連携して、インスタグラムフォトコンテストを開催した。30年1月と2月には、定住促進企画の蒲郡生活1泊体験ツアー

と連携するなど、市の広報基盤として徐々に利用が広がっている。今後は、様々なイベントや事業との連携を図り、観光客や定住者の増加のきっかけとなるように、市の魅力発信を行っていききたい。

青山義明（自民党市議員）

河川の拡幅・改修状況は

問 県が管理する河川の拡幅・改修の状況は。

答 河川整備計画に基づき、県が整備を進めている。落合川では河道拡幅のため冷越橋の上流左岸の護岸ブロック工を施工する。



国道247号中央バイパスの
ごみのポイ捨て対策は

問 道路の管理方法を含め、今後の対策を伺う。

答 定期的な道路清掃に加え、中央分離帯をコンクリートに改修するなど、関係機関とも連携しながら対策を検討していく。

農地中間管理機構関連
農地整備事業について

問 平成30年度から始まる本事業の概要を伺う。

答 農地の基盤整備をするもので、要件を満たせば事業費の農家負担分を国が補助するものである。

尾崎広道（自由クラブ）

災害復興住宅について

問 民間賃貸住宅を災害復興
興住宅として活用する
場合の問題点と、その解決
策は。

答 大家が特定の人の入居を拒んだり、借りる人



が保証人を立てられないなどの問題がある。解決策として、入居拒否しないことを事前に了解する登録制度の創設や、保証協会へのあつ旋などが考えられる。

狭あい道路について

問 狭あい道路の定義について伺う。

答 明確な定義はないが、建築基準法第42条第2項に規定される幅員4m未満の道路を想定している。

問 調査の進捗状況について伺う。

答 全路線の現地調査は完了しているが、検証作業の完了にはあと数年かかると思われる。